



グローバルマクロ週報 ・ 2026年第39週 (9/21~9/25)

日本は利上げしても円安。メキシコは据え置きでペソが週間3.2%安。この市場が認めるのはドル金利だけ。

9月、FRB、ECB、日銀が相次いで利上げし、スイスとメキシコは据え置きを選びました。結果はどちらも同じ。主要10通貨のうち9通貨が対ドルで下落し、上昇したのは韓国ウォンだけです。世界の国債の平均利回りは4%に迫り、2007年以来の高水準。お金はドル金利がいちばん高いところへ流れています。

世界株 (MSCI ACWI、ドル建て) +1.1% 終値 161.05	ユーロ圏・ストックス50 +1.1% 終値 6,302.82	日本・日経平均 +2.1% 終値 66,364.20	香港・ハンセン -1.0% 終値 24,510.09	ドル指数 100.97 週間 +0.75
ブレント原油 +0.4% 終値 104.32				

01

今週の主役

利上げで通貨は救えない。米国以上に上げない限りは

日銀は9月18日、7対2の賛成多数で政策金利を1.25%に引き上げました。1995年以来的の水準ですが、2人が反対し、植田総裁も追加利上げを約束しなかったため、円は上がるどころか下落。今週はさらに対ドルで1.7%下げ、ドル/円は158.8と、介入警戒ラインの160に近づいています。

据え置きの代償はもっと直接的でした。メキシコ中銀は9月24日、全会一致で6.5%に据え置き、FRB に追随しないと明言。ペソは週間3.2%安で、9月23日の1.37%安は半年ぶりの大きさです。スイス国立銀行は0%を維持し、スイスフランは0.4%安。主要10通貨で対ドル上昇はウォンだけでした。

世界の国債が同じ週に売られた

ブルームバーグの世界国債指数の平均利回りは水曜に3.99%まで上昇し、2007年以来的の高水準に迫りました。英国債利回りは2008年以来的の高さ、日本国債は3%台を維持、ドイ

ツ10年債は2011年以来の水準です。背景は重なっています。大量の国債発行、原油ショ
価格がすべてを物語ります。米長期国債ETF（TLT）は週間2.4%安、新興国ドル建て債
ツクによるインフレ再燃、そして利上げを続ける中央銀行。
（EMB）は1.3%安、米国外国債（BWV）は0.7%安。今週、安全な債券はありませんでし
た。

アジアの半導体は上昇、中国テックは下落

韓国 KOSPI は週間2.7%高。サムスン電子と SK ハイニックスが個人と外国人の売りを吸
収し、7000の大台を守りました。台湾加権指数は1.8%高、日経平均は2.1%高です。

同じアジアでも、ハンセン指数は1.0%安と3週続落。9月23日に北京が DeepSeek と
Moonshot AI のデータ安全調査を始めたとの報道で1%下げ、金曜に終わったトランプ・
習近平会談は通商休戦の2カ月延長以外に成果が乏しいものでした。上海総合は0.6%安で
す。

利上げで通貨は救えない。米国を上回る利上げなら話は別だ。

世界の株式

週間騰落（現地通貨建て）

韓国・KOSPI +2.7% 年初来 +68.0%	メキシコ・IPC +2.6% 年初来 +1.1%	日本・日経平均 +2.1% 年初来 +31.8%	台湾・加権指数 +1.8% 年初来 +65.8%	新興国株（MSCI EM、ド ル建て） +1.4% 年初来 +24.9%	米国・S&P500 +1.2% 年初来 +13.1%
スイス・SMI +1.2% 年初来 +5.1%	世界株（MSCI ACWI、ド ル建て） +1.1% 年初来 +14.6%	ユーロ圏・ストックス50 +1.1% 年初来 +8.7%	ドイツ・DAX +0.4% 年初来 +3.7%	英国・FTSE100 +0.3% 年初来 +7.7%	フランス・CAC40 +0.2% 年初来 -0.9%
カナダ・TSX -0.0% 年初来 +12.9%	中国・上海総合 -0.6% 年初来 -2.0%	豪州・ASX200 -0.8% 年初来 -0.6%	インド・Nifty50 -0.9% 年初来 -11.4%	ブラジル・ボベスバ -0.9% 年初来 +13.9%	香港・ハンセン -1.0% 年初来 -4.4%

各国指数は現地通貨建て。MSCI ACWI と新興国（EEM）はドル建て ETF。

現地通貨建てでは世界の多くが上昇しました。韓国+2.7%、メキシコ+2.6%、日本
+2.1%。ところがドル建てにすると話が変わります。メキシコ株は2.6%上がってもペソ
が3.2%下がり、ドルで投資した人は今週約0.8%の損。日経平均の2.1%高も、円安分を
差し引くと約0.3%にとどまります。欧州は小幅高（ストックス50は+1.1%、DAX は
+0.4%）、インド、ブラジル、オーストラリア、香港は下落しました。

為替：対ドルで強い通貨、弱い通貨

対ドルの週間騰落

ウォン +0.9% 年初来 +5.2%	人民元 -0.1% 年初来 +4.2%	ルピー -0.4% 年初来 -6.6%	スイスフラン -0.4% 年初来 -4.4%	ユーロ -0.9% 年初来 -3.2%	ポンド -1.1% 年初来 -1.9%
レアル -1.3% 年初来 +5.5%	豪ドル -1.5% 年初来 +4.6%	円 -1.7% 年初来 -1.5%	メキシコペソ -3.2% 年初来 +1.4%		

プラスはその通貨の対ドルでの上昇を示します。

通貨	レート	対ドル・週間	対ドル・年初来
ウォン	USD/1,367.36	+0.9%	+5.2%
人民元	USD/6.7111	-0.1%	+4.2%
ルピー	USD/96.16	-0.4%	-6.6%
スイスフラン	USD/0.8280	-0.4%	-4.4%
ユーロ	1.1375	-0.9%	-3.2%
ポンド	1.3211	-1.1%	-1.9%
レアル	USD/5.1905	-1.3%	+5.5%
豪ドル	0.7008	-1.5%	+4.6%
円	USD/158.81	-1.7%	-1.5%
メキシコペソ	USD/17.74	-3.2%	+1.4%

ドル指数は週末 100.97 (+0.75)。USD/ 表記は1ドルあたりの通貨量。

ドル指数は0.75上昇して101.0。下げが大きかったのはメキシコペソ（-3.2%）、円（-1.7%）、豪ドル（-1.5%）で、3通貨とも自国の金利が米国に追いつかないという同じ問題を抱えています。人民元は管理のもとでほぼ動かず（-0.06%）。ウォンは主要通貨で唯一対ドル上昇（+0.9%）で、半導体輸出と資金流入が支えました。

04

金利と中央銀行

中央銀行	政策金利	直近の決定	次回会合
FRB	3.75～4.00%	9/16 に25bp 利上げ、3年あまりぶり。ドットチャートは年内もう1回	10/27～28
欧州中央銀行	預金金利 2.50%	9/10 に25bp 利上げ、年内2回目	10/29
日本銀行	1.25%	9/18 に25bp 利上げ、1995年以来の水準、7対2	10/29～30
スイス国立銀行	0%	9/24 据え置き、為替介入の表現を弱める	12/10
メキシコ中央銀行	6.50%	9/24 全会一致で据え置き、FRB に追随せず	11/5
豪準備銀行	4.35%	来週4.60%への利上げが予想される	9/29

各中央銀行の発表より。発行時に確認。

米国債	週末値	週間変化	年初来
米2年債	4.81%	+5bp	+134bp
米10年債	5.17%	+16bp	+99bp
米30年債	5.49%	+15bp	+65bp
10年実質金利（TIPS）	2.83%	+15bp	+90bp
10年ブレークイーブン・インフレ率	2.34%	+1bp	+9bp

10年国債利回り（月次）	最新月	利回り	前月比
オーストラリア	2026-08	5.01%	+10bp
英国	2026-08	4.99%	+6bp
フランス	2026-08	4.00%	+15bp
イタリア	2026-08	3.99%	+11bp
カナダ	2026-08	3.67%	+13bp
ドイツ	2026-08	3.18%	+11bp
日本	2026-08	2.94%	+15bp

OECD の月次データ（FRED 経由）で、通常1〜2カ月遅れ。水準の確認用で、今週の動きは下の債券 ETF と本文を参照。

債券 ETF	週間	1カ月	年初来
米国外投資適格債（BNDX、ヘッジあり）	-0.2%	-1.5%	-1.0%
米国外国債（BWX、ヘッジなし）	-0.7%	-2.5%	-3.8%
米ハイイールド債（HYG）	-0.9%	-2.0%	+0.5%
新興国ドル建て債（EMB）	-1.3%	-2.9%	-0.9%
米長期国債（TLT）	-2.4%	-4.4%	-6.2%

債券価格と利回りは逆に動くため、ETF の下落は利回りの上昇を意味します。

米10年債利回りは週間16ベーシスポイント上昇して5.17%となり、世界の利回りを押し上げました。月次データでは、英国とオーストラリアの10年債利回りは8月時点ですでに5%近くと米国を上回り、ドイツは3.2%、日本は2.9%です。

中央銀行は2つの陣営に分かれました。FRB、ECB、日銀は利上げ、スイスとメキシコは様子見、豪準備銀行は来週火曜に4.60%への利上げが広く予想されています。様子見を選んだ側は、今週そろって為替で代償を払いました。

05

商品と暗号資産

週間騰落（ドル建て）

米天然ガス +9.8% 年初来 -13.3%	ビットコイン +3.6% 年初来 -4.0%	イーサリアム +1.8% 年初来 -9.3%	銅 +1.2% 年初来 +18.9%	ブレント原油 +0.4% 年初来 +71.4%	トウモロコシ +0.1% 年初来 +20.0%
小麦 -1.5% 年初来 +38.7%	金 -2.3% 年初来 -0.5%	銀 -3.5% 年初来 -8.4%	WTI 原油 -7.9% 年初来 +60.9%		

資産	直近	週間	1カ月	年初来
米天然ガス	3.20	+9.8%	+12.5%	-13.3%
ビットコイン	84,034.92	+3.6%	+6.3%	-4.0%
イーサリアム	2,690.48	+1.8%	+7.4%	-9.3%
銅	6.70	+1.2%	+1.5%	+18.9%
ブレント原油	104.32	+0.4%	+18.8%	+71.4%
トウモロコシ	528.25	+0.1%	+2.8%	+20.0%
小麦	703.25	-1.5%	-3.7%	+38.7%
金	4,321.20	-2.3%	-7.1%	-0.5%
銀	64.25	-3.5%	-5.5%	-8.4%
WTI 原油	92.41	-7.9%	+12.4%	+60.9%

原油・天然ガス・金属・穀物は期近先物。

ブレント原油は今週0.4%高の104ドル、WTI は7.9%安の92ドルで、価格差は約12ドルに広がりました。米イラン停戦への期待が米国の原油を押し下げ、中東の供給リスクが国際価格を支えた形です。実質金利の上昇で貴金属は軟調、金は2.3%安、銀は3.5%安。天然ガスは9.8%高、銅は1.2%高。ビットコインはテック株に連れて3.6%高でした。

来週の注目点

日付	イベント	注目点
9/29	豪準備銀行の政策決定	2011年以来の高さとなる4.60%への利上げが広く予想されています。豪ドルは今週すでに1.5%安、利上げで下り
9/30	中国9月の公式 PMI	香港が3週続落するなか、流れを変えられるのは内需のデータだけ。10月1日から本土市場は1週間休場
10/1	日銀短観（7～9月期）	大企業の景況感が、日銀が10月末に再利上げに踏み切れるかを左右します。円は160円まであと一歩
10/2	ユーロ圏9月の消費者物価速報	8月は3.3%。さらに上がれば、ECB は10月29日に「年内の利上げは終わり」とは言いにくくなる
10/2	米国9月の雇用統計	ドル高の土台は米国の金利です。雇用が強ければ10月の利上げはほぼ確実になり、他の通貨への圧力はさらに強

計算方法と出典

週間騰落率 = 今週最終取引日の終値 ÷ 前週最終取引日の終値 - 1（2026-09-21～2026-09-25）。休場の市場は直近の取引日。

株価指数・為替・商品・暗号資産・債券 ETF は Yahoo!ファイナンス（遅延あり）、米国債利回りは FRED、その他の10年国債利回りは OECD 月次データ（FRED 経由）。

為替は各通貨の対ドルでの騰落に統一し、プラスは通貨高を示します。

今週引用した報道

- FRB の9月利上げ: Charles Schwab
- ECB の9月利上げ: ECB
- 日銀の7対2での利上げ: CNBC, 9/18
- 160円に迫る円: Bloomberg, 9/24
- スイス国立銀行の0%据え置き: CNBC, 9/24
- メキシコ中銀の据え置きとペソ: Rio Times
- 世界の国債利回り4%に迫る: Bloomberg, 9/24
- 韓国半導体株が7000を死守: KED Global, 9/23
- ハンセン指数3週続落: Business Today
- トランプ・習近平会談: CBS News
- 原油: WTI とブレント: EnergyNow

本週報は公開市場データに基づくリサーチの記録で、すべての読者に向けたものです。個人の財務状況を考慮したものではなく、投資助言ではありません。データには遅延があり、原資料が優先されます。

データ時点 2026-09-25・雅虎财经（股指、汇率、商品、加密资产、債券 ETF）；FRED（美債收益率、OECD 各国 10 年期国債收益率）

AlphaScope・alphascope.cc/ja/reports/global-weekly-2026-w39・2026-09-30 作成

財務データは SEC EDGAR の原資料から。株価データには遅延があり、出典は各レポートに明記しています。

レーティングはすべての読者に向けたリサーチ上の見解であり、個人への売買の推奨ではありません。投資にはリスクがあります。最終判断はご自身で。